

折り紙研究の最先端 報告

～折り紙と文化、数学、アート～

講師：三谷 純氏 (筑波大学大学院教授)

11月17日 (土) PM

我が国で古くから親しまれてきた「折り紙」の世界が、幅広い分野の研究から注目を集められるようになってきています。1枚の紙を折りたたんで作られることによって、ミウラ折りをはじめとして、広く宇宙から医療にいたるまであらゆるところで研究され、実用化されています。後半には、梅の花を立体化させたり、球を折るという、マジック的コンピューター折り紙技法の最先端を体験しました。できた作品はお持ち帰り、お土産付きでみなさんに楽しんでいただきました。ちょうど前日11月16日の日本経済新聞文化欄に三谷純先生の「折り紙の曲線 数学で導く」という記事が掲載され、今や時の方で、ちょうどよいタイミングでした。2020年オリンピックに向けて、日本が誇る折り紙文化最先端を学べた1日でした。

